



千葉科学大学 (千葉県銚子市)



2016年人を助けたい、という人の大学：日本語・日本文化研修留学生コース

■大学紹介

① 大学の特色および概要

- 2004年4月 開学 (薬学部・危機管理学部)
- 2010年4月 留学生別科を増設
- 2014年4月 看護学部の増設 (3学部体制)

本学を運営する加計学園は、岡山理科大学 (1964年開設)、倉敷芸術科学大学 (1995年開設)、付属高校、中学などをもつ総合的な学校法人である。法人の建学の理念は、次の通り。

ひとりひとりの若人が

持つ能力を 最大限に引き出し

技術者として 社会人として

社会に貢献できる 人材を養成する

このもとで、本学の教育目標は、次の通り。

健康で安全・安心な

社会の構築に寄与できる人材の養成



② 国際交流の実績 (2015年) 人数 (受入/派遣)

米国	フィンドリー大学 (8/1)	ライト州立大学 (7/1)
ブラジル	パラナカトリカ大学 (7/1)	パラナ連邦大学 (3/1)
シンガポール	ポリテック (12/0)	

③ 受入れ留学生数 (日研究生を含む)

年度	留学生数	(別科生数)	[日研究生]	備考
2015	96	(23)	[0]	10月1日
2014	110	(27)	[2]	
2013	138	(18)	-	
2012	178	(15)	-	
2011	202	(24)	-	

※学生の出身国 (2015年度) 中国・スリランカ・ベトナム・パキスタン・ネパール・ミャンマー・マレーシア・韓国・イスラエル・台湾

④ 地域の特色

銚子市は東京から約100km、成田空港から約50km。東方と南方は太平洋に囲まれ、北方は利根川が流れている。

気候は海洋性で、夏は涼しく、冬は暖かい。霧が多く発生し、湿度が高い。雪はめったに積もらない。海風が強く、風力発電の風車がたくさん回っている。漁業や醤油のまちとして知られる。銚子港の水揚げ高は全国一。農業も盛んで、食糧自給率は250%を超える。空気は澄み、地形は変化に富む。水郷筑波国定公園 (1959)、銚子ジオパーク (2012)、国指定名勝/天然記念物指定答申 (2015) と、自然が豊かな地域である。



銚子ジオパーク
ジオっち

■コースの概要

① コースの特色

日本語・日本文化研修コースは留学生別科が運営している。教育理念は次の通り。

- a) 太平洋の向こう岸はアメリカ、世界へ繋がる岬のまちの大学で学ぼう
- b) 日本の自然と文化が豊かなまちで、美味しい楽しい日本語を学ぼう

銚子市は外国人の住民登録で5%以上を占め、研修生 (漁業/農業) も多い。まち全体をキャンパスと見立て、地域住民 (外国人や小中高も含む) との日常的な交流を通じて、生きた日本語・日常の日本文化を学ぶ機会をできるだけ増やす努力をしている。

なお、東日本大震災を教訓にして、避難訓練を行うとともに、復興活動へのボランティアに協力している。

② 受入定員 (実績2014年各1名、2015年各0名) 定員8名 (大使館推薦5名、大学推薦3名)



銚子市内の小学校運動会へ出場

③ 受講希望者の資格、条件等

「日本語レベル」日本語能力試験
漢字圏：N4以上
非漢字圏：N5以上

※日本文化に関心があり、日本語学習に意欲があること。

- 《聞》・約束する時間や場所を聞き取り、その内容を守ることができる。
- 《話》・自分の自己紹介に対して、簡単な質問がされたとき応答ができる。
- 《読》・予定表(日時・曜日・場所)を読み取り行動ができる。
- 《書》・ひらがな・カタカナが自由に書け、所定用紙に氏名などが記入ができる。

④ 達成目標

「日本語レベル」日本語能力試験
漢字圏：N2以上
非漢字圏：N3以上

※修了試験(記述・会話を含む)に合格すること。

- 《聞》・標準的な話し方のTVや映画がだいたい理解できる。
- 《話》・学業やアルバイトの面接で希望や経験を話すことができる。
- 《読》・新聞や雑誌において、関心のある話題の記事が読むことができる。
- 《書》・感謝や謝罪を伝える手紙やメールを書くことができる。

⑤ 研修期間(日研生も含む)

2016年10月～2017年8月
2016年9月下旬(入国受入れ・生活指導)
入学式 2016年9月下旬
修了式 2017年8月下旬

⑥ 研修科目の概要

	科目	領域	単位	週当たり授業時間
1) 必須科目 教室内での通常型(セミタ)の授業 840時間	日本語Ⅰ	文型・文法	8	6
	日本語Ⅱ	聴解	4	3
	日本語Ⅲ	会話	4	3
	日本語Ⅳ	漢字・語彙	4	3
	日本語Ⅴ	作文	4	3
	日本語Ⅵ	読解	4	3
2) 地域交流等の参加型科目	総合学習		4	集中90時間
3) その他の講義、選択科目等	情報科学		4	不定期開講
	日本語Ⅶ	試験対策	8	集中120時間
	HR	ホームルーム	毎週3コマ相当	

- ・開講科目40単位以上(秋学期20単位以上、春学期20単位以上)
- ・不認定科目は、選択科目として次学期に補講・再試験
- ・年間行事はHR(単位認定・評価せず)で事前事後指導。



銚子市内の中学校における交流会

⑦ 年間行事(9月～9月)

月	学校関係	市民交流
9	秋入学式	歓迎会 小学校運動会
10	個別面談(進路)別科スピーチ予選	中学生交流会 一泊研修旅行
11	試験対策講座	高校生交流会
12	研修旅行(宿泊)日本語能力試験	銚子スピーチ大会
1	書き初め定期試験	初詣(社寺)
2	書き初め展示	旧正月休み
3	春入学者修了式 謝恩会	ボランティア 日本文化体験
4	春入学式 交通マナー講習	歓迎会 お花見
5	まち歩き遠足 津波避難訓練	小学生交流会 (給食体験)
6	試験対策講座	社会科見学
7	日本語能力試験 オープンキャンパス	七夕 夏祭り プラネタリウム
8	定期試験 秋修了式	大相撲地方巡業 (東庄町笹川)
9	ガーデンパーティ(出身国の料理)

研修旅行
箱根の温泉
ゆかたで夕食



⑧ 指導体制 (2015年度現在)

●日本語教育 (担当スタッフ)

《専任》

船倉武夫(留学生別科長)、高橋道恵(講師) [♯]

《非常勤講師》

鏑木 正、鈴木美貴子[♯]、小濱知子[♯]、滝口晶子[♯]

佐藤真紀[♯]、鎌田久美子[♯]、西山智恵子[♯]

床枝書玲(中国籍)[#] [♯]、他

※ 日本語教員は「銚子日本語教育の会」を結成、その活動は2012年度銚子賞として表彰された。

※ 教室内の授業は、プレースメントの結果で能力別クラス編成、クラスごとチームティーチングする。ホームルームや学外活動などは、合同で実施する。

※ SA (スチューデントアシスタント) は、学部生(別科修了生の留学生及び日本人生)を活用することで修了生のフォローアップの機会を増やし、若い日本人と交流する機会の増加が目的である。

●生活面 サポートスタッフ(学務部国際交流課)

畑 茂穂(学務部長)

ビクター=ヘイゼン(英語)[#]

張 秋月(中国語)[#] 木下 匡善[♯]

[#] : ネイティブスピーカーの教職員

[♯] : 日本語教育指導講習760時間以上

⑨コースの修了要件

- 在籍期間 12ヶ月以上
- 出席率 80%以上
- 修得単位数 40単位以上
- 日本語能力試験 N3以上に合格
- 修了試験 合格
- 公序良俗を遵守していること

■宿 舎

●宿舎(民間アパートの借り上げ)

●3LDK

原則として3人でルームシェア

●費用

家賃総額 30万円 (原則として一括前納)

雑費: ガス・鍵の保証料、火災保険料 約3万円

公共料金(光熱水費)は月払い 約1万円

●備品

冷蔵庫、洗濯機、照明器具、机、椅子など

●インターネット

ワイヤレス回線セキュリティ完備WiFi接続



男子寮

・愛宕町パークランド浅間台

(せんげんだい)



女子寮

・清川町マリクレール

■修了生へのフォローアップ

- ・修了生で本学への進学者をSAとして雇う。
- ・適性に応じ進路指導を行う。
- ・就労希望者がキャリアセンターを通じて情報提供する。
- ・海外支局長を通じて帰国時もサポートする。

■問合せ先

(担当部署)

千葉科学大学

住所 〒288-0025

千葉県銚子市潮見町3番地

●入試広報室

TEL +81-(0)479-30-4545

FAX +81-(0)479-30-4546

e-mail koho@cis.ac.jp

<http://www.cis.ac.jp/examinee/>

●学務部国際交流課

TEL +81-(0)479-30-4649

FAX +81-(0)479-30-4650

e-mail intl@ml.cis.ac.jp

<http://www.cis.ac.jp/~kourvu/>

●キャリアセンター

TEL +81-(0)479-30-4552

FAX +81-(0)479-30-4557

e-mail career1@ml.cis.ac.jp

<http://www.cis.ac.jp/~career>

●留学生別科 (日研生)

TEL +08-(0)479-30-4649

FAX +08-(0)479-30-4650

e-mail bekka@ml.cis.ac.jp

<http://www.cis.ac.jp/infomation/bekka/>

●海外支局長

※ 対象となる国は次の通り

中国・韓国・ベトナム・ミャンマー・
ネパール・スリランカ・パキスタン
マレーシア・オーストラリア